

7インチ・シングル(33回転) ライナーノーツ

1964年3月19日木曜日、ローリング・ストーンズは、ロンドンはリージェント・パークの西に位置するカムデン・シアターで行われた音楽番組“BLUES IN RHYTHM”の収録に参加した。彼らはこの前日にもラジオ・ルクセンブルクの番組のために14曲のレコーディングを行っており、6月にはグループの最初のアメリカ・ツアーも行われることになっていた。

“BLUES IN RHYTHM”は、当時、BBCが30分枠で放送していたレギュラー番組だったが、5月9日土曜日の午前9時半に放送されたこの日の収録分は、その頃はまだ殆ど例のなかったステレオで試験的に放送されることになっていた。BBCは複数の新聞に“立体音響 (Stereophony)”を前面に打ち出した広告を出稿し、この特別なプログラムを宣伝している。

番組のプロデューサーだったイアン・グラントが語る。「BBCは、この放送に2つの周波数帯域を使用した。方法はそれ以外になかった。私たちはステレオの一方のチャンネルの音は普通にラジオから流し、もう一方のチャンネルの音はテレビを通じて聴いてもらうようにした。部屋にラジオとテレビを8フィートの間隔を置いて設置する。そして両者の角度を調節した上で中央に腰掛けると聴取者はステレオ効果を得られるというわけだ。『お宅のラジオとテレビをご確認ください。テレビから音声は出ているでしょうか？こちらから流れるのが左音声、こちらから流れるのが右音声です。左右の音声が正しく聞こえるなら準備OKです。』あの日は、番組を放送する前にまずはそんなアナウンスが流れ、それからテープを回し始めたんだ。」

番組の前半にはジョージ・フェイム&ザ・ブルー・フレイムズが登場。ローリング・ストーンズは後半の主役だった。ショウの司会と進行を務めたのはロング・ジョン・ボルドリーで、この日、彼はストーンズの面々を“魅力的な逸脱者たち”と紹介している。バンドはフラミンゴ・ジャズ・クラブ(ローリング・ストーンズは1963年1月にこのクラブに出演していた)からやって来た聴衆を前に、“Route 66”、“Cops And Robbers”、“You Better Move On”、“Mona (I Need You Baby) (愛しのモナ)”の4曲を披露した。

“You Better Move On”はアーサー・アレキサンダーの作品で、1964年1月にリリースされたEP“THE ROLLING STONES”には、バンドが1963年8月にデッカのスタジオでレコーディングしたスタジオ・ヴァージョンが収録されていた。しかしながら、ステレオで録音されたこのBBCヴァージョンがそれに優るとも劣らない極上の仕上がりであることは、キース・リチャーズのシャープなギター・プレイとミック・ジャガーの語りかけるようなヴォーカルを聴けば明らかである。“Mona”も、ストーンズが既に1964年1月にレコーディングしていた曲で、イギリスではデビュー・アルバム“THE ROLLING STONES”(1964年4月のリリース)、アメリカでは“THE ROLLING STONES, NOW!”(1965年2月のリリース)に収録された。ここで聴けるBBCヴァージョンは、そのスタジオ・ヴァージョンよりも幾分テンポを速めたものになっている。“Cops And Robbers”(ケント・ハリスの作品で、ボ・ディドリーのヴァージョンでヒットしている)のストーンズ・ヴァージョンは今回が初めての音盤化に当たる。“Route 66”は前述のイギリス盤デビュー・アルバム“THE ROLLING STONES”と、アメリカでリリースされたデビュー・アルバムの双方で取り上げられていた1曲。初期のストーンズのステージで頻繁に披露されていたお馴染みのレパートリーで、ここでも期待に違わない手慣れた歌と演奏を楽しむことができる。

リチャード・ヘイヴァーズ

(訳：若月真人 for KR Advisory Co., Ltd.)